

日本労働組合同盟
関東合同労働組合第三回大会

組織宣傳部報告

大正十四年七月十九日創立した本組合の陣容は十ヶ支部五〇〇余名に過ぎなかつた
尔来遂に組合組織の充実に努力した——各區支部聯合の組織——支部の整理充実に
——各支部の組織——地方への積極的宣傳——産業委員會の組織

斯如組織の確立の下に全組合員が協力一致して資本家階級の牙城に肉迫した、
其の結果は昨年度(十一月間)中に二十六ヶ支部を組織した特に九月中には七支部十月
中には五支部を組織するの好成績を挙げた

其等の戦果も努力も資本家階級の極度の暴圧と總同盟幹部の裏切の行動によつて不
幸十五支部の解散又は消滅の止むなきに至つた、圧迫と追害の下に全組合員は一丸
になつて戦つて来たのだ、又將來に戦つて行かぬはならぬ

其の戦の結果は東京地方全体に支部を設立し四方八方に我等の陣容を拡大し進んで
地方的には福島縣埼玉縣に新しい支部を組織した、今々將に栃木縣茨城縣にも組織
運動の火の千か返りとしてゐる、六月中旬から本部執行委員小松原走太郎君外二名
の同志は栃木縣の山奥で暴行團の目下刀の下をくつて血を流し支部の組織運動を
やつてゐる

本組合を名実伴小関東合同労働組合たらしむる爲には東京附近口勿論地方的にも陣
營を拡大し関東地方一帯に組合旗を立てる可く戦はねばならぬ